

練習する雅楽部員＝愛知県岡崎市の矢作北小学校で



千年の音色 奏でる雅楽

芸術の秋。日本古来の音楽の一つに、神社などで演奏される雅楽があります。多くの種類の楽器を合奏する形が1000年以上前から今まで受け継がれてきた例は他になく、「世界最古のオーケストラ」とも言われます。その世界をのぞいてみましょう。(佐橋大)



雅楽を演奏する旭雅楽会の人たち＝名古屋・栄で



なるほどランド

1 起源古く

奈良や平安時代に記録

六日、名古屋・栄の愛知県芸術劇場では、愛知県一宮市の雅楽演奏団体「旭雅楽会」のメンバーが、雅楽の旋律で「君が代」を演奏しました。合奏全体を覆うような「笙」の和音、横笛、太鼓などの音が絶妙に組み合わせられ、優雅な音色となつて観客を包み込みました。昔ながらの曲とは少し違った曲、た芸術です。

六日、名古屋・栄の愛

知県芸術劇場では、愛知

一宮市の雅楽演奏団体「旭雅

楽会」のメンバーが、雅楽の旋

律で「君が代」を演奏しました。

合奏全体を覆うような「笙」の

和音、横笛、太鼓などの音が絶

妙に組み合わせられ、優雅な音

色となつて観客を包み込みまし

た。昔ながらの曲とは少し違

つた曲、た芸術です。

吹いて演奏する「管楽器」。

穴を小さく指遣いが同じでも、

楽器の傾きや息遣いのささやか

な違いで、音の高低まで変わ

ります。

つややかな響きで主旋律を担

う小さな縦笛「箏」は、音を

出すリード「鷹舌」が水辺に生

ます。

雅楽は総合芸術。楽器を合奏

する「管弦」や、音楽に舞が伴

う「舞楽」などの種類に分かれ

ます。

吹いて演奏する「管楽器」。

穴を小さく指遣いが同じでも、

楽器の傾きや息遣いのささやか

な違いで、音の高低まで変わ

ります。

つややかな響きで主旋律を担

う小さな縦笛「箏」は、音を

出すリード「鷹舌」が水辺に生

ます。

雅楽の譜面。「下ノロ」とあるのは楽器

の音を模した唱歌の歌詞。これを歌う

ことが練習の第一歩＝愛知県岡崎市で

文化を受け継ぐと、一九九一

年、雅楽部ができました。部員

は、地元の雅楽団体「長瀬楽人

会」の指導を受けています。

愛知県一宮市の「旭雅楽会」

は二〇〇一年に結成。市内の尾

張猿田彦神社を拠点に活動して

います。会社員、主婦ら約三十

人が月五回、練習します。舞を

練習する小中学生もいます。

学習指導要領が変わり、小学

六年生の音楽の教科書には、雅

楽が載るようになりました。旭

雅楽会にも学校で雅楽を教える

ほしいと依頼があります。岩田

副理事長は「雅楽を通じて、日

本の素晴らしさを伝えたい」と

話します。

2 指揮なし 全員の音を聞いて合奏

七〇一年にできた法典、大宝律令では、朝廷に、音楽を演奏するための機関「雅楽寮」を置くことを定めました。奈良時代に東大寺の大仏の完成を祝う式典でも、さまざまな舞楽が披露されたという記録もあります。平安時代の貴族、清少納言が書いた「枕草子」にも、笙、箏など雅楽の楽器についての感想が綴られています。どこに、どんなふうに書かれているのか、調べてみるのもいいでしょう。

えるアシでできています。揺らぎやすい、その音色は「人の声」を表すといわれています。

長さの異なる十七本の竹の管を、吹き口のついた器に差し込んだ楽器「笙」は異なる音色を一度に出せます。「フアン」と聞こえる音は「天から差し込む光」を表現します。横笛の一種「龍笛」の奏でる音色は、伸びやかで「龍の声」、つまり天地の間を象徴します。

管弦にはさらに、弦楽器の「琵琶」「箏」、打楽器の「鉦鼓」「鞆鼓」「太鼓」などが加わります。

指揮者はいません。最初に演奏する龍笛が基準になって、他の楽器が音を合わせる形で合奏が始まります。音楽の進行の中で、それぞれの楽器が役割を果たします。「みんなが全員の音を聞き、肌で感じながら、音楽をつくり出すのが雅楽」と旭雅楽会の岩田法智華副理事長(三六)は話します。

3 伝統文化 学校や地域で受け継ぐ

文化を受け継ぐと、一九九一年、雅楽部ができました。部員は、地元の雅楽団体「長瀬楽人会」の指導を受けています。愛知県一宮市の「旭雅楽会」は二〇〇一年に結成。市内の尾張猿田彦神社を拠点に活動しています。会社員、主婦ら約三十人が月五回、練習します。舞を練習する小中学生もいます。学習指導要領が変わり、小学六年生の音楽の教科書には、雅楽が載るようになりました。旭雅楽会にも学校で雅楽を教えるほしいと依頼があります。岩田副理事長は「雅楽を通じて、日本の素晴らしさを伝えたい」と話します。



龍笛を吹く人＝愛知県一宮市の尾張猿田彦神社で